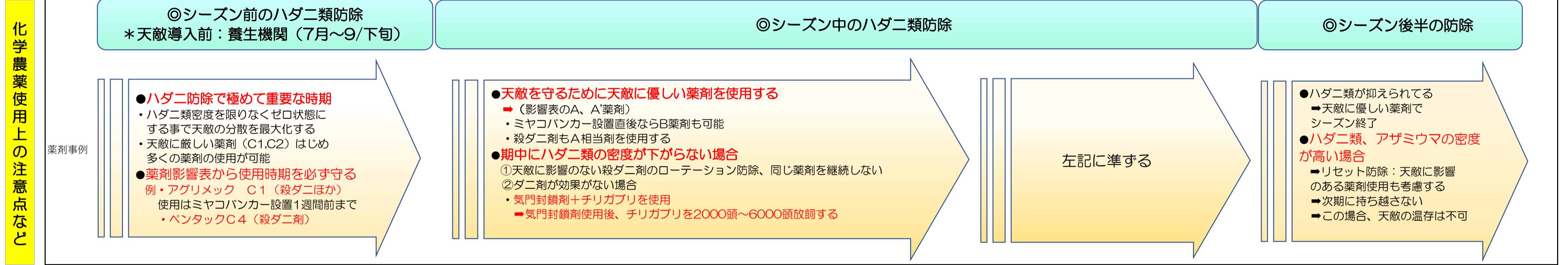
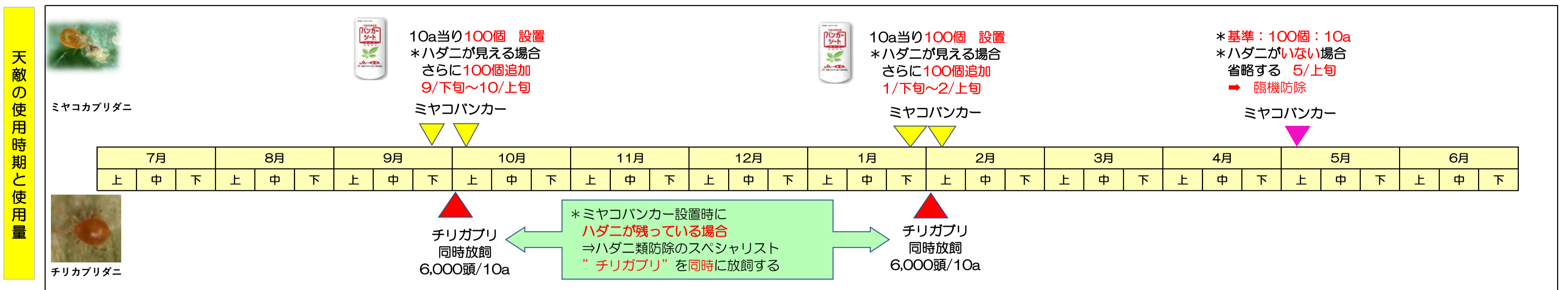
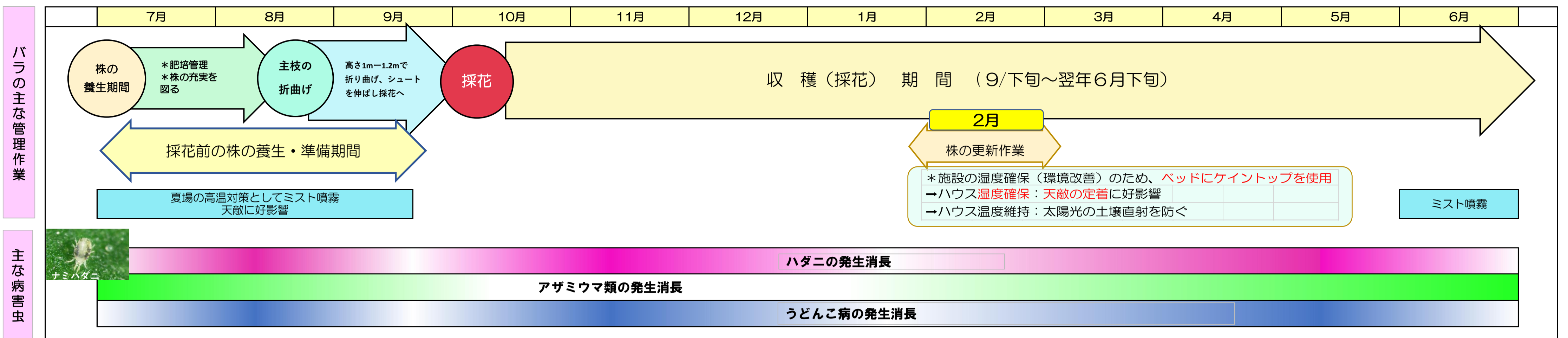


天敵を利用した“バラ”のハダニ類防除方法の紹介

バラの仕立て方法にはアーチング方式、ハイラック方式、切り上げ方式などがありますが、本号では「ハイラック方式」において天敵を利用したハダニ類のIPM防除について紹介します。ハダニ類の防除には殺ダニ剤（ハダニ類専門の薬剤や一般化学農薬で殺ダニ効果がある薬剤）を使用しますが、近年薬剤抵抗性を持ったハダニ類の出現で期待した効果が得られなくて何度も薬剤散布をしているのが現状です。また、ハイラック方式では、採花枝の基部に広がっている枝葉はほとんど更新されることがなく、薬剤も十分にかかりにくいところからハダニ類の快適なすみかとなっており、この事も防除困難な要因になっています。今月号では、天敵を導入してハダニ類を防除する方法について、導入のタイミングや一般化学農薬使用にあたっての注意などを紹介させていただきます。



◎バラ栽培において最重要病害虫は、ハダニ類とうどんこ病であり、下表に登録農薬の一部と、その薬剤の天敵に対する影響度A以外の薬剤を使用する時は影響期間を考慮してください。
* 下表以外にも薬剤を使用する場合には次の事に注意してください。
① 農薬登録 (バラあるいは花き類・観葉植物登録) のある薬剤を使用する ② 薬剤影響を守る ③ 使用前に必ずラベルを良く読み表示の通りに使用する。

化学農薬の登録内容と特性 (殺虫剤)						化学農薬の登録内容と特性 (殺菌剤)						
薬剤名	IRACコード/倍率	天敵影響 ※ミヤコバンカー・チリガブリはミヤコバンカーと同評価	使用時期	使用回数	ハダニ類に対する効果	アザミウマ類効果	薬剤名	FRACコード/倍率	天敵影響 ※ミヤコバンカー・チリガブリはミヤコバンカーと同評価	使用時期	使用回数	特性
*殺ダニ防除剤						*うどんこ防除剤						
アグリメック	6	500	発生初期	5回	速	◎ ◎ ◎ ◎	フルピカフロアブル	9	2000-3000	A	5回	予防
ペンタック水和剤	—	1000~1500	—	—	遅	◎ ◎ ◎ ◎	カリグリーン	NC	800	A	—	炭酸水素ナトリウム、治療
コロマイト水和剤	6	2000	発生初期	2回	速	◎ ◎ ◎ ◎	トリフミン水和剤	3	3000-5000	A	5回	DMI剤 予防・治療
ダブルシューターSE	※1	1000	発生初期	2回	x	○ ○ ○ ○	ダコニール1000	M5	1000	A	6回	予防
ニッソラン水和剤	10A	2000~3000	—	2回	遅	◎ ◎ ◎ ◎	サンヨール	M1	500-1000	B	8回	有機銅系、予防
ダニコングフロアブル	25B	2000	発生初期	1回	速	○ ◎ ◎ ◎	ガッテン乳剤	U13	5000	A	2回	発生前~発生初期 予防・治療
ダブルフェースフロアブル	※2	2000	発生初期	1回	速	○ ◎ ◎ ◎	サルバトールME	3	3000	A	7回	DMI剤 予防・治療
*気門封鎖剤						◎農業資材 (害虫捕獲粘着紙)						
ムシラップ	—	500	発生初期	—	x	○ ○ ○ ○	マネージ乳剤	3	500-1000	A'	6回	DMI剤 予防・治療
エコビタ液剤	—	100	発生初期	—	x	○ ○ ○ ○	アフェットフロアブル	7	2000	A	3回	発生初期 SDFH剤 予防
—	—	—	—	—	—	—	モレスタン水和剤	M10	2000-3000	C2	10回	発生初期 予防
*アザミウマ類防除剤						◎アザミウマ類防除に必須						
カウンター乳剤	15	2000	発生初期	5回	—	—	ホリバー	イエロー	アブラムシ類、アザミウマ類の誘因、捕獲 (粘着)	—	—	—
スピノエース顆粒水和剤	5	5000	発生初期	2回	—	—	ブルー	ブルー	アザミウマ類の誘因捕獲 (粘着)	—	—	—
ティアナSC	5	2500-5000	発生初期	2回	—	—	—	—	アザミウマ類の誘因捕獲 (粘着)	—	—	—
※1: 5、脂肪酸エステル ※2: 21A,25B						使用数量 100枚~400枚/10a 作物の10~30cm上に吊下げる						
※バンカーシートへの影響目安												
A	天敵に影響が小さい剤。いつでもバンカーシートとの併用可。					C1	天敵に影響がある剤。バンカーシート設置1週間前まで使用可能。以降は使用不可。					
A'	A' は2週連続散布不可。					C2	天敵に影響がある剤。バンカーシート設置3週間前まで使用可能。以降は使用不可。					
B	天敵にやや影響がある剤。ミヤコバンカー: バンカーシート設置前または設置後2週間以内であれば併用可。ただし、6、7、8月の高温期においては、1週間以内とする。スワルバンカー: バンカーシート設置前または設置1週間以内であれば併用可。					C3	天敵に影響がある剤。バンカーシート設置6週間前まで使用可能。以降は使用不可。					
						C4	天敵に影響がある剤。バンカーシートとの併用は不可。					

* 注意: 本表は令和2年9月現在の登録農薬抜粋、及び薬剤影響

ミヤコバンカー製品内容と組み立て方法

- ① フィルトでカブリダニパックを挟みます。
- ② バンカーシートの下から挿入した後、保水資材を5回入れます。
- ③ 上蓋のように入れてください。 ※②の保水資材を先に詰め込み、③の保水資材は裏と表から両面に入れてください。

室温17℃における製品パックからの放出量

■ミヤコカブリダニの放出量の差

●ミヤコバンカー(保水資材あり) 17℃

●ミヤコパックのみ 17℃

ミヤコバンカー設置方法

ダニが多い株基部に設置

ハダニ密度の高いエリア

採花枝基部

- *年間防除管理についての注意事項**
- 環境把握
 - ① 病害虫発生状況: ハダニ類、アザミウマ類、ハスモンヨトウ、うどんこ病、灰色かび病などハウスごとにマップを作成する
 - ② 年間の病害虫防除計画を立てる (月別、化学農薬、天敵+化学農薬)
 - ③ 圃場に病害虫を持ち込まない工夫をする (ネット設置など)
 - ④ 適切な温湿度管理を行う (暖房機、循環扇、換気扇)
 - 防除注意点
 - ① 農薬登録 (花き類・観葉植物・ばら) のある薬剤を使用する
 - ② 薬剤は十分な効果が得られる最少の使用量となる適正な散布方法を検討する
 - ③ 薬剤散布は、病害虫の部位に薬液が十分かかるように散布する
 - ④ 薬剤抵抗性が発達しないよう、同一系統の薬剤散布は避け、系統の異なる薬剤のローテーション散布を行う
 - ⑤ 薬剤抵抗性の確認されている薬剤は使用しない
 - ⑥ 薬剤散布は、散布時期、薬剤の特徴を考慮し薬剤を選定する
 - ⑦ 天敵導入の場合は、薬剤影響を確認し天敵に影響が出ないように注意する